

# 平成30年度保育園事業報告書

社会福祉法人 天 附 保 育 園

# 平成30年度 保育園事業報告書

天附保育園

はじめに

女性の社会進出等就労機会の増加に伴い、働く女性が増え、保育園に対する社会的期待は、益々大きくなっている。

当保育園では国が示した保育指針を踏まえつつ、地域性を考慮しながら、それぞれの家庭や地域社会との連携を密にして「保育計画」を策定し、それに沿った適切な保育が行えるよう、全職員が協力してその実施に当たった。

今年度に於ける主な事業については以下に示すものである。

## 1、家庭や地域社会との連携等について

- (1) 保育園と家庭との連携を密にするため「クラスだより」を毎月発行して保育に対する各家庭の理解と協力を求めるとともに、園児の登降園にともなう送迎等の際にも子どもの状況等を密接に連絡するように努めた。
- (2) 地域老人と園児との交流親和を図るため各種の行事を催した。(別紙参照)
- (3) 子どもの情操を高め、また季節感を演出するため、七夕祭り、餅つき、ひな祭り等の行事を行った。また、年長児については週1日の「お茶ごっこ」も取り入れ、年度末には、お茶会にて、御点前の披露をした。各行事に於いて家庭の協力が多数得られた。

## 2、保育活動の実践等について

それぞれの子どもの初期段階や発達段階に留意し、保育士の愛情と知性と技術とが個々の子どもに充分向けられるよう配慮しながら当保育園「保育計画」に沿って実施した。

なお、実践に当たっては、全ての活動領域において子どもが自主的、自発的に取り組めるような環境の設定に留意するとともに、音楽的豊かさや運動能力を発達助長する遊び、友達とのつながりを深める遊び、体験学習に基づいた保育をするように心がけた。年間に於ける行事の実践については、別紙参照とする。

## 3、給食について

子どもの発育に於ける重要な部分と位置づけ、栄養のバランス及び、季節感のある給食を目指し、必要な栄養量の確保、嗜好を生かした調理に配慮して実施した。

手作りおやつ週5回の実施と季節や行事にあわせたおやつ作りに励んだ。

衛生管理についても毎月の細菌検査を全職員が確実にを行うとともに手洗いの励行、マスクの着用に注意し、事故防止の配慮を常に行った。

#### 4、職員研修について

毎月1回、計画的に園内研修を各クラス担当の持ち回りで実施すると共に、園外の各種研修会にも積極的に参加し、職員の資質向上に努めた。

#### 5、保健・安全等その他

- (1) 嘱託医に依頼して、園児の健康診断を5月と11月に実施した。  
6月には、歯科検診を行ない、未受診の子どもについては、後日病院に連れて行き、全園児についての健康状態の把握を行った。食後には毎日歯を磨くことも励行した。また、4、5歳児において希望者はフッ化物洗口を取り組んだ。
- (2) 嘱託医に依頼して、職員の健康診断を実施すると共に、職員の細菌検査を毎月実施して園児への健康安全等について配慮した。
- (3) 子供の発育・発達に合わせた安全指導の必要性を認識して交通安全の為の指導を実施し、毎月1回をその日と定めた。
- (4) 災害時に備えて、職員による組織づくりを行い、その役割分担について十分に認識し、子どもに対しては、その発達に応じて避難訓練の目的・意義を理解させ、訓練に参加させた。実施については別紙を参照。5月、11月には消防署職員立ち合いのもと避難訓練を実施し、指導を受けた。保育士は消火訓練を受けた。

#### 6、地域活動事業の実施について

老人福祉施設訪問等、世代間交流事業として園児と地域の老人とのふれ合いや交流を図り、園児の豊かな成長発達の醸成に努めた。なお、実施回数は5回、参加老人数は福祉施設入所の老人を含め 582名であった。

詳細については下記に示す。

7月	ケアセンター鶴丸訪問	80名	
	あんじん訪問	30名	
9月	天附地区敬老会	320名	
12月	心愛病院クリスマス演芸会	120名	
	正寿庵訪問	11名	
3月	ひなまつり会(於・保育園)	21名	計 582人

更に、現在一時保育や低学年の学童保育も実施しているので、下に実際の人数等を記録する。

##### ○一時保育

30年度延人数 16名

##### ○学童保育

30年度延人数 256名

# 児 童 憲 章

児童は 人として尊ばれる  
児童は 社会の一員として重んぜられる  
児童は 良い環境の中で育てられる

- 1, すべての児童は、心身共に健やかに生まれ育てられ、その生活を保障される。
- 2, すべての児童は、家庭で正しい愛情と知識と技術をもって育てられ、家庭に恵まれない児童には、これにかわる環境が与えられる。

# 保 育 目 標

明るく 元気に 頑張る

1. 自分のことは、自分でする
1. 頑張る
1. 物を大切にする
1. じっくり考える
1. 友達と仲良くする
1. 工夫をする

## 避難訓練想定火点及び避難場所

H30年度 天附保育園

月	種	想定火点	避難場所	備 考	訓練実施日
4	非 常			紙芝居「だいちゃんのおかしなひなんくんれん」を見て避難訓練について学ぶ。どんなときにベルが鳴るのか、ベルが鳴った際どのように避難するのか一緒に考えた。	4.10
	火 災			ビデオ「あっちっち たいへんだ」をみて火事の恐ろしさを知る。ライターやマッチ、ストーブ等、子ども達の身近にあるもので火事は起きること。小さな火から大きな火事に鳴ることを伝えた。	4.17
5	地 震			地震についてのビデオを見た。2年前の地震について覚えている子どももいて、地震は恐ろしいものだと言確認できた。	5.8
	火 災	裏山（東）	正門	消防署から指導してもらい、通報訓練、避難訓練、消火訓練を行った。	5.15
6	火 災	近くの民家（東）	園庭	予告無しの訓練実施。口元を押さえて避難することが出来ていた。	6.12
7	火 災	近くの民家（北）	正門	訓練を重ねる度に、少しずつではあるが、速やかに避難出来ている。あわてず焦らず避難できるようにした。	7.10
8	台 風			紙芝居「台風が来るぞ」を通し、恐ろしさを準備しておくといよい物（懐中電灯、ラジオ）を知り、次の台風に備えようという気持ちももてた。	8.1
	火 災	給食室	0～2歳（門外） 3～5歳（裏門から外）	予告無しでの訓練実施。避難の仕方について再確認しあった。	8.7
9	地 震（津波）			紙芝居「じしんがあった日曜日」を通し、地震津波について理解した。地震については実際に経験しているのによく理解し話を聞くことが出来た。	9.1
	火 災	給食室	園庭（裏門）	予告無しでの訓練実施。年長児が口元に手を当てているのを見て年中、年少児も真似し、速やかに避難できた。	9.12
10	火 災	近くの民家（南）	正門	予告無しでの訓練実施。目標を達成することが出来た。	10.9
	土砂災害時 避難訓練	裏山	正門	保育士の誘導指示に従って避難し、安全確認を行った。又、災害用具（水、食料等）の置き場所や持ち運びについて、職員間で確認しあった。	10.17
11	火 災	近くの民家（正門の近く）	園庭	消防車より消防車を受け、避難訓練、避難訓練、消火訓練を行う。避難の際、子ども達がどのような行動をとるか分からない年齢の子も居ただけでなく、狭い所やカーテン裏に隠れているかもしれないので、避難が必要だと告げた。	11.13
12	地 震			放送や保育士の指示をよく聞いていた。防災頭巾のかぶり方も分かっている子どもは、自分でかぶる事が出来ていた。	12.3
	火 災	うめ組 4,5歳児室	正門及び園庭	予告無しにて訓練を行う。雨のため外への避難は出来なかったが、保育士の指示のもと、避難の態勢はとれていた。	12.11
1	火 災	食堂 コミュニティルーム（コンセント）	0～2歳（門外） 3～5歳（園庭）	少しずつではあるが、避難に要する時間が短くなってきた。目標を達成できた。	1.8
2	火 災	4.5歳児室 うめ組（エアコン）	園庭	予告無しでの訓練実施。毎月の訓練で避難が速やかに行えるようになった。	2.5
3	火 災	職員室（たばこ）	0～2歳（門外） 3～5歳（園庭）	避難時の約束事「お（おさない）、か（かけない）、し（しゃべらない）、も（もどらない）」も確認した。	3.12

## デイリープログラム

平成30年度 天附保育園

	1～2歳児（うめぐみ）	3歳児（たけぐみ）	まつ・さくら時間	4・5才児（まつ・さくらぐみ）
8:00	登園 視診、所持品整理 自由遊び	登園 視診、所持品整理 自由遊び	8:00	登園 視診、所持品整理 自由遊び
8:30	片付け・排泄	片付け・排泄	8:30	片付け・排泄
9:00	ラジオ体操	ラジオ体操	9:00	ラジオ体操
9:20	お集まり 朝の挨拶、出席調べ	お集まり 朝の挨拶、出席調べ	9:20	お集まり 朝の挨拶、出席調べ
9:30	おやつ 主活動 自由遊び	主活動	9:30	主活動
10:45	片付け 排泄・手洗い	自由遊び		
10:55	給食準備	11:00 片付け	11:10	片付け
11:00	給食 歯磨き	排泄・手洗い	11:20	給食
12:00	午睡準備	給食準備		
12:10	午睡	11:10 給食 歯磨き・着替え	12:30	午睡（桜組は 5月前半まで） 午後の活動
		12:00 午睡準備 12:30 午睡		
14:45	起床 排泄	起床 排泄	14:45	
15:10	おやつ準備	おやつ準備	15:00	おやつ準備
15:40	おやつ 自由遊び	おやつ 自由遊び	15:40	おやつ 自由遊び
16:00	降園準備 視診・身じたく	降園準備 視診・身じたく	16:00	降園準備 視診・身じたく
16:30	随時降園	随時降園	16:30	随時降園

※延長保育として7:00～19:00までとする

※排泄自由に行く

## 職員名簿

平成30年度

職名	氏名	組担当	勤務年数	生年月日	T E L
園長	吉川 徳澄		3. 3	S 22.12.16	72-5024
主任保育士	大山 真理		19. 1	S 48.4.21	72-4795
保育士	田中 雅子		5. 6	S 36.2.11	72-6105
〃	菅原 希		9. 1 1	S 58.3.17	72-3593
〃	岩崎美奈子		2. 3	H 2.6.20	73-3652
〃	矢田 博美		2. 1	H 1.1.17	090-1923-7357
保育補助	花田 貴子		3. 8	S 45.1.10	72-3697
調理員	萱野 幸子		11. 1	S 36.8.2	72-6564
事務員	高尾 記代		13. 1 1	S 45.4.19	75-4474
嘱託医	内科 中邑 大猷		3. 6		74-0370
	歯科 規矩 保		34.		73-2548

## 職 務 分 担 表

平成 30 年度

天附保育園

園 長		1. 園の経営管理	
		2. 園の事務管理	
		3. 職員の管理	
		4. 保育計画の立案	
		5. 園舎の管理	
		6. 官署、保護者会、その他渉外連絡	
主 任 大山 真理		1. 指導計画	
		2. 特別の行事に関する計画の作成指導	
		3. 保健衛生に関する計画並びに指導	
		4. 給食の監督	
		5. 園舎内外の掃除の監督	
保 育 士	岩崎美奈子	1. 健康・衛生に関する計画の作成指導	
	大山 真理	1. 共同遊具の整理保存	
	花田 貴子	1. 医薬品の整理保管	
	菅原 希	1. 安全に関する事項	
	田中 雅子	1. 備品・物品に関する事項	
調理	萱野 幸子		1. 献立表の作成、整理
			2. 調理の実施
			3. 炊具・食器の保管
			4. 給食人員の調査
事務	高尾 記代		1. 事務に関する事項
			2. 現金保管
	全 職 員		1. 園舎内外の清掃、整頓に関する事項
			2. 園舎の保全に関する事項
嘱託	中邑 大献 規矩 保		1. 園児及び職員の健康に関する計画指導
			2. 園児及び職員の健康に関する診断
			3. 園舎の衛生に関する助言
摘 要		1. 主任及び保育士は組を担任し保育に従事するとともに研究研鑽に努め、上記の職務を分担し保育園運営管理の万全に寄与するものとする	
		2. 以上の如く業務を分担するが、各人連携を密にし、業務の円滑を期するものとする	